

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回上三川町地域自立支援協議会
開催日時	令和5年9月12日（火） 午前10時00分～午前11時36分
開催場所	上三川町役場 中会議室
議長（委員長・会長等）の氏名	飯田康人会長
出席者（委員等）の氏名・出席者数	飯田康人会長、高田美保副会長、鈴木礼子委員、入江里美委員、増淵盟美委員、中指祐一委員、野原恵委員（代理）、荒川孝一委員、渡辺由美委員、小島友香委員、大島淑江委員、高田緑委員、大槻英一委員、高橋温美委員、貝木教子委員、笹島由美委員 出席者16名
欠席者（委員等）の氏名・欠席者数	海老原友子委員、田崎幸夫委員、山口静子委員 欠席者3名
事務局職員 の職・氏名	浜野課長、高田課長補佐、後藤係長、峰主査、小池保健師、上三川障がい児・者生活相談支援センター荒木氏、石川氏 栃木県障害者相談支援協働コーディネーター大嶋氏
会議次第	議事 (1) 事業所紹介 (2) 部会協議について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 部会委員名簿 ・ 施設説明資料（スマイルサポート上三川（生活介護事業所）） ・ パンフレット（スマイルサポート上三川（生活介護事業所）） ・ パンフレット（スマイルサポート上三川（相談支援事業所）） ・ こども療育園クリアファイル <li style="padding-left: 2em;">中に 児童発達支援事業所シュシュのパンフレット <li style="padding-left: 2em;">8月9月月間予定表 ・ 部会協議記録シート

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
高田補佐	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。開催の前に、本日お配りした資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>資料の不足がございましたらお申し出ください。</p>
高田補佐	<p>皆さまにご報告がございます。本日、名簿番号6の野原さんに出席いただいておりますが、本日付で黒岩幹枝委員に新たに委嘱しましたのでお知らせいたします。本日は、代理出席ということでお越しいただいております。</p>
高田補佐	<p>また、今年度県の指定を受けました、上三川町にございます2カ所の事業所からご紹介のため、本日お越しいただいておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、令和5年度第2回上三川町地域自立支援協議会を開会いたします。</p> <p>開会にあたりまして、飯田会長よりごあいさつ申し上げます。</p>
飯田会長	<p>(あいさつ)</p>
高田補佐	<p>それでは、これより議事に入ります。上三川町地域自立支援協議会設置条例第6条により、会長が議長となる規定でございますので、これからの進行については飯田会長に議長をお願いいたします。</p>
飯田会長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>まず、議事に入ります前に、本日の会議録の署名人を指名させ</p>

事務局	<p>ていただきます。今回は、貝木委員と荒川委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。「(1) 事業所紹介」です。事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事業所紹介について説明)</p>
飯田会長	<p>それでは、スマイルサポート上三川様、よろしくお願ひいたします。</p>
スマイルサポート上三川 柄目氏	<p>皆さん、こんにちは。ただ今、ご紹介を受けましたスマイルサポート上三川と申します。これから事業の説明をさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。まず、私どもですが、スマイルサポート上三川を運営している会社、佐藤商会という会社になります。創業して63年になりますが、そちらの社会福祉事業部で開所させていただきました。取締役をしている柄目と申します。隣りが施設長をしております大橋と申します。</p> <p>それでは資料をご説明させていただきますので、こちらの1ページ目をご覧くださいと思います。</p> <p>会社の事について簡単にお話しさせていただきます。佐藤商会は代表が佐藤康久と申しまして、本社が宮城県大河原町で人口が2万3千人ほどの町です。従業員はグループ会社も含めて250人ほどおります。主な活動は、保育園を21ヵ所やっております。宮城・福島・東京・埼玉・千葉でキッズフィールドという保育園を運営しております。その他に、ドコモショップを運営しているのと、化粧品、雑貨などもやっていますが、今一番メインでやっているのは、この保育事業になります。保育園をやってきた中で、保育園と何かを一緒に活動できたらなと思っております。よく保育園と介護施設・老人施設とは繋がりがあありますが、色々と考えてきた中で、生活介護について創作活動があるので、子どもたちのおもちゃを作ったらどうかと。おもちゃを作ることで、障害のある方も社会参加できますし、子どもたちも保護者も喜ぶと</p>

<p>スマイルサポ ート上三川 大橋氏</p>	<p>思いまして、そのあたりを上手く繋げていきたいなど生活介護をオープンしました。子どもたちはおもちゃが届くのを楽しみにしているのですが、ここで作って各県の保育園、栃木県市内でも保育園を立ち上げるコンサルタントもしているのです。こちらに寄付したりとか、お互い協力してやっていきたいと思っておりました。これから地域に根ざしてやっていきたいと思っておりますので、皆さまよろしく願いいたします。</p> <p>では、詳しく活動内容について、大橋の方からご説明させていただきます。</p> <p>施設長の大橋と申します。よろしく願いいたします。では、次のページの生活介護の定義ですが、できるだけ施設の写真を使って説明したいので、定義の方はざっと説明したいと思います。</p> <p>対象者は、地域や入居施設において、安定した生活を営むため、常時介護等の支援が必要な方で次に該当する方となっております。1つ目は、障害支援区分が3以上の方。障害者支援施設に入所する場合は区分4以上。2つ目は、年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が2以上。障害者支援施設に入所する場合は、区分3以上。3つ目は、生活介護と施設入所支援との利用の組み合わせを希望する者であって障害支援区分が区分4、50歳以上の場合は区分3より低い方のうち、指定特定相談支援事業者によるサービス等利用計画案の作成の手続きを経た上で、市区町村が利用の組み合わせの必要性を認めた方になります。</p> <p>サービスの内容については、障害者支援施設などで、主に昼間において、次のサービスを行います。入浴、排泄、食事等の介助。調理、洗濯、掃除等の家事。生活等に関する相談、助言。その他日常生活上の支援。創作的活動、生産活動の機会の提供。身体機能や生活能力の向上のために必要な援助、といった内容になっております。</p> <p>施設の写真は（資料中の）2枚で、（事業所の）入口の部分と中の部分になります。このような感じで、利用者さんが日中活動を行っております。</p>
---------------------------------	---

次のページ、日中活動の様子を写真で説明させていただきます。現在、スマイルサポート上三川では、7名の方がご利用になっています。年齢は22～65歳の方。支援区分が3・4・6の方がそれぞれ1名。区分5の方が4名おられます。障害ごとに分けると、精神の方が3名、身体の方が1名、知的の方が3名となっています。

①の(写真)ラジオ体操ですが、利用者全員で日中活動を行う前に、正面のテレビに体操の映像を映してラジオ体操を行います。

②の(写真)日中活動ですが、箱で工作をおこなったり、他にちぎり絵やぬりえであったり、本人のやりたいことをその都度伺いながら、無理なく活動をしていただいています。

③の(写真)日中活動は、この方は動画が見たいということで、好きな動画を見ていただいています。

④の(写真)活動は、チラシ折りということで、机に置く簡単なくず入れを作っていただいております。

⑤・⑥(写真)は、昼食の様子ですが、お弁当を提供する形になっております。一口大にしたり、それより小さくしたり等、利用者さんに合わせてカットしております。

次の生活介護の中で3つのグループに分かれており、作業はせずゆっくり過ごしたい班、作業班、IT班があります。

その中で作業班は、ボトルにビーズや洗たくのりを入れて、スノードームのようなものを作っているところです。真ん中は、チューブの中にビーズを入れて輪を作っている様子です。一番右は、ペットボトルの蓋をひもでくくって、へびのようなおもちゃを作っているところになります。工賃は、最大時給300円と設定しており、保育園で買い取っていただくということで工賃が設定できることになっています。

真ん中(の写真)は、おもちゃの完成写真になります。左(の写真)はパズル的なもの、奥のペットボトルは口からペットボトルの蓋やピンポン玉を入れて遊んでもらうものになります。右下のひものようなもので、保育園の先生からの要望が多く、よく作

っています。

下のIT班の写真ですが、IT班は保育園のSNSの更新であったり、e-スポーツに出場を目指したりしています。現在は、e-スポーツに出られるレベルの方がいないため、2～3名の方が練習している段階になります。

その右（の写真）はSNSのコメントを作成していただいています。この方は、全身麻痺であるが、視線入力装置を使って文章を打っています。IT班の方は、このようなSNSの更新等については工賃を支給するようにしています。

（資料の）次のページのイベントについては、8月25日に夏祭りを行いました。月に一度担当者がイベントを企画して、相談員等の外部の方をご案内しています。内容は、職員が作ったおもちやを利用したもので、ボーリングや魚釣り、輪投げ等を行っています。食事も通常とは異なり、焼きそばやフランクフルトなど屋台のようなものを提供しまして、利用者も大変喜んでいました。

最近、一般の方、学校からの問合せが多くなっており、実習生等も多くなっています。

最後に、スマイルサポート上三川は開所間もない事業所ですが、日頃から和やかな雰囲気をつくり、各支援員が状況に応じた声掛けや支援を行えるよう徹底しています。また様々なニーズに対応出来るよう、職員間での情報共有、知識・統一した支援方法の習得が出来るよう指導を行っています。

全ての利用者が同じペースの支援が適しているとは限りません。支援に於いては利用者一人ひとりに対する理解を深め、一人ひとりの適切なペースを見極めることが重要と考えます。各支援員は利用者一人ひとりに対し、適切且つ平等な支援が提供出来るよう意識しながら支援に取り組んでいます。

スマイルサポート上三川を利用される方々が笑顔で過ごすことができる場所、やりがいのある活動を提供していけるよう、これからも支援員一同、努力していきたいと思います。

飯田会長	<p>以上となります。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。それでは質問にお答えいただけたらと思いますが、委員の皆さまから事業等について、ご質問等がございますか。</p>
貝木委員	<p>今は始まったばかりで地域が広範囲ではないと思うが、デイサービスなので送迎があると思う。送迎がどこの市町までか、何分ぐらいまでか、現状は何時から何時までの一斉帰りなのか、早くから希望されるとか遅くまでいさせてほしいとかの対応など、検討とかあれば教えてください。</p>
大橋氏	<p>サービスの提供時間は10～16時になっております。送迎に関しては、どこまでというよりも片道30～40分で行ける範囲で行っています。現状では時間の延長や早くからは行っていないが、施設は8時30分～17時30分まで開いているので、家の都合で早めや16時以降もという方も現状いますが、基本的には10～16時になっています。</p>
貝木委員	<p>ありがとうございました。</p>
飯田会長	<p>他にございませんか。せっかくの機会ですので皆さま、いかがでしょうか。</p>
柄目氏	<p>こちら（資料）のQRコードを読み取っていただくと、YouTubeで施設の中が見られるようになっているので、後ほどぜひご覧ください。</p>
飯田会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、私から。工賃最大300円ということですが、最大ということであって、一律ということではないということですかね。</p>
大橋様	<p>生活介護の利用者なので1時間集中、継続できない方がいるの</p>

飯田会長	<p>で、1時間やられた方と5分ぐらいでやめてしまった人が同じというのはどうなのかなというところで、10分・15分という時間でも加算して月で何時間かを計算するようにしています。</p> <p>ありがとうございました。皆さんの方からよろしいでしょうか。それでは、スマイルサポート上三川様の紹介を終了いたします。</p> <p>次に児童発達支援事業所 シュシュ上三川の紹介に移ります。シュシュ上三川様よろしくお願いたします。</p>
シュシュ上三川 藤島氏	<p>児童発達支援兼管理者の藤島と申します。限られた時間ですが、事業所の紹介をしたいと思います。</p> <p>まず、場所について、シュシュ上三川は白鷺神社の道路を挟んで隣にあります。通称子ども療育園として、4月3日にオープンしました。シュシュが考える子ども療育園とは、幼稚園で行う教育、保育園で行う保育、児童発達支援事業所で行う療育、すべての良いところを一つにした第4の園として考えています。建物は新しく建ったもので、施設のデザインは専属のデザイナーを雇用しており、外観や内装、園庭などを作り、特別な場所としての空間演出をしています。内装は、お子様が使いやすい仕様でトイレや洗面所等、見学にいらっしゃった方が大変気に入られています。</p> <p>現在、利用児は、住まいが上三川町2名、真岡市1名、宇都宮市2名、合計5名が利用しています。来週金曜日からは、壬生町から1人の利用が決まっています。利用児のうち5名中2名が3歳未満児、来週から登園予定のお子様は2歳となっております。宇都宮市から来ている1名は、送迎を行っています。50分かかるといえる家からどうしてもシュシュに通いたいという申し出があり、7月から中間地点のお母様の職場から30分の送迎を行っています。また、下野市から1名が検討しているという状況です。</p> <p>発達の遅れが見られる未就学児への早期療育として自信を持って薦められる事業所です。</p> <p>まず、名前の由来ですが、シュシュという言葉は、フランス語で「お気に入り」という意味を持ちます。かわいい、素敵な、い</p>

とおしいという意味もあり、通うお子様に気に入ってもらえるよう、そして、第2の我が家のように通ってほしいという願いが込められています。シュシュというと、髪を束ねるゴムを想像される方が多いと思いますが、人と人とのつながりを持ちながら、お子様とご家族とシュシュで手を取り合って、その輪が地域に広がっていく第1歩となればという願いも込められています。シュシュのオリジナルキャラクター、モンくんとマシュちゃんもお子様とご家族からかわいいと評判です。

療育に関して、朝9時から3時までの毎日通う療育になっています。毎日通園を導入している理由は、他の園・事業所との併用は、大人が仕事を掛け持ちする以上に、子どもは大変です。2か所のルールを覚えなければならず混乱してしまい、かえって成長を妨げてしまう恐れがあります。日常生活のリズムを整えるうえでも、併用ではなく、毎日通園が必要なのです。

次に、療育プログラムについてです。マンスリーは毎月組み立てられており、午前中の活動は、月・水・金曜日はダイナミック運動、全身を大きく動かす活動を行います。火・木曜日は、リトミック、音楽や楽器を使いながら体を動かす活動になっています。毎日通いながらできないことが出来るようになるというのを目的に、多彩な療育と手厚い支援を行っています。午後の活動は、月・木曜日が微細活動、腕や指先を使って持つ・握る・通す・つまむなどの手先の訓練を行っています。ピンチ練習、食具練習、新聞ちぎり、スキルブック、紐通し、はさみ練習、プットインなどです。火・水金曜の午後は創作・認知の活動をしています。創作は、粘土、ブロック、積み木、塗り絵、折り紙などに取り組んでいます。認知は、マッチング、プラスチック、名前や色、形などの認知学習です。また、午後の活動でタブレット学習を取り入れて、数・色・形・文字などの学習を行っています。多彩な療育教材が揃っており、繰り返し行いながら「できる」を見つけ出しています。

おやつは毎日違う食材を提供しています。月・水曜は、比較的小子様たちが食べやすいもの、果物やスナック系を、火曜は主食になるようながつつり系を、木曜はチャレンジデーで比較的苦手

な食材、金曜は食具練習の一環として、プリンやゼリー、ヨーグルトなどです。お子様たちの中には、偏食がちのお子様、自宅では決まったものだけを食べているお子様も多く、いろいろな食材を提供することは大変喜ばれております。今は学校でも「食べるまで…」と無理強いはしないことから、「見れたね」「触れたね」「スプーンですくえたね」とスモールステップで肯定的な声かけをしながら取り組んでいます。お弁当を持参していただいているが、金曜日は「白米デー」というのを設けて、就学につなげられるよう、取り組んでいます。

タイムスケジュールの中で、「11:00 午睡タイム」とあるが、午前中の睡眠の効果についてお話しします。午前中に睡眠をとるのは、生活習慣を整えるためです。脳の性質上、午後のお昼寝は夜の睡眠を求めてしまい、深い眠りになってしまいます。脳が、夜の眠りを行ったと認識し、夜の寝つきが悪くなってしまいます。午前中の仮眠は数十分だけですっきりできて、午後の活動に集中できます。夜の寝つきが良くなり、朝早く起きる生活習慣を整えるためには、午前の睡眠が効果的なのです。また、午前と午後の睡眠を比較すると、成長ホルモンの分泌量が多く、脳の発達に良いです。発達に遅れのあるお子様や遅れの心配のあるお子様にとっては、脳の発達が促進されるので、とても大切と考え、午前中の睡眠を取り入れています。午前睡眠が短いのも1時間ぐらい時間をとっているが、45～50分ほどの睡眠になっています。あまり長く睡眠をとると、かえって疲労感を高めてしまうことから、短い時間の睡眠でも効果的な午前睡眠を取り入れています。保護者様からも「夜によく寝てくれるようになった」「朝早く起きられるようになった」と声も多くあります。

幼稚園や保育園と同じような経験を積み重ねてほしいことから、毎月のイベントにも力を入れております。8月の夏休み、10月の運動会、3月の卒園式は、保護者様にも参加していただき、お子様の成長した姿を見ることができイベントとなっております。

飯田会長	<p>以上、シュシュ上三川の大まかな説明とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。シュシュ上三川様にも質問にお答えいただけたらと思いますが、事業等について、ご質問等はございますか。</p>
貝木委員	<p>受給者証が必要な施設になると思うが、受給者証を持っていない人も見学に来ると思う。受給者証取得の説明はするのか。パンフレットに幼稚園や保育園の併用と書いてあるが、お子さんによってはやっている方はいるのか。</p>
藤島氏	<p>5名のうち2名が併用している。3月に幼稚園を希望されているお子さんで、それでも受け入れをして、幼稚園につなげていければとお預かりしています。あとは、プレ保育という半年間ぐらい体験として、シュシュに慣れてもらう形もとっています。</p>
貝木委員	<p>ありがとうございました。</p>
小島委員	<p>上三川に2つの素敵な事業所ができたことをすごくうれしく思います。療育が働いているお母さんにとっては、週に1回とか2回とかなんとか時間を作って連れて行こうという中で、1週間続けてあるというのはすごくお母さんたちの励みになって、これから人気が出て増えていくのかなと思いました。実際、私の友達で週に1回午前中、療育になんとか連れて行っている人がいるので、紹介したいなと思いました。</p> <p>スマイルサポート上三川さんですが、学校に来ていただきまして、実際に上三川町に住んでいる保護者の方が内覧に行かせてもらったり、実際に昨日から私のクラスの生徒が実習に行かせてもらったりしています。今後、特別支援学校の子たちが、シュシュさんとかスマイルサポート上三川さんにお世話になっていくのかと思い、今日はいろいろと聞かせていただきました。ありがとう</p>

<p>飯田会長</p>	<p>ございました。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、私から、今、先生からもあったように、選択肢が広がったということで、この2つの事業所ができたことは大変喜ばしいことと思います。ご存じかと思いますが、町内には「スマイル上三川」という事業所とこぶしの会で「シュシュ」というパン屋さんがやっています。この2つの事業所が、ある程度定着しつつある名称で、それぞれ考えがあってこのような名称で入ってこられたと思うが、インスタグラムやLINEを見れば出ているのかもしれませんが、できればパンフレットなどの中に地図を入れていただくと、説明をするときにわかりやすい（区別しやすい）かと思います。それと、色々なところで今回のような説明をする時に、上三川町には似たような事業所があることを加えていただくと、聞いている人も違う事業所だとわかると思います。</p> <p>それでは、これで（1）の事業所紹介を終了いたします。事業所の皆様ありがとうございました。</p>
<p>大槻委員</p>	<p>すみません、1つだけよろしいでしょうか。</p> <p>スマイルサポート上三川への質問です。聾者、聞こえない人の中にも知的障害をもった方がいると思うが、そういった方は利用していますか。</p>
<p>大橋氏</p>	<p>現在、聴覚障害をもった方はご利用されていません。聴覚障害の方は携わったことがないのですが、逆に質問になりますが、手話ができないと支援するにあたって難しいですか。</p>
<p>大槻委員</p>	<p>その通りだと思います。できれば、手話があればと思います。</p>
<p>大橋氏</p>	<p>今後、検討していきたいと思います。</p>

	(2 事業所退出)
飯田会長	つづきまして、「(2) 部会協議について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(説明)
飯田会長	事務局の説明が終わりましたので、部会協議に移りたいと思います。協議の時間は30分ほどを予定しておりますので、(実際の時間) 11時15分までとしたいと思います。では、よろしくお願いいたします。
	(部会ごとに協議)
飯田会長	それでは、時間になりましたので各部より報告をしていただきたいと思います。 では、名簿順に就労部会からお願いいたします。
就労部会長	現在の活動は、現状、コロナ等の理由で活動できていません。以前は、優先調達などで名刺を作ったりなどあったと話が出ました。今後の活動は、民間の雇用の話がありました。日産自動車から障害者の求人をいただいたという現状があり、日産さんでも以前から聾者の受け入れをしてくださっている。その他、上三川の企業の方で障害者の雇用を受け入れている実績を知れたらいいなという希望はあります。あとは、道の駅の建設が進んでいるところで、予定として、その中で取り扱うとなった際には、こぶしさんのパンですとか、上三川の障害者施設、トータスさんのニラやキクラゲなど、そのような商品を取り扱っていただける話ができたらと思います。 あと、むかしなつかし館で以前は商品を扱っていただいていたという経緯がありますが、そのような人の集まる場所で、障害者就労施設のアピールをしていけたらという話が出ました。

	<p>課題は、上三川町で最後まで生活ができるために、24時間の施設にて就労ができることです。働ける場所や生産したものをアピールに行くネットワークづくりという話が出ました。日産自動車にもものを売りに行くなど、それを個々の事業所が動くのではなく、事業所が全体でまとまって協力してネットワークを作れるかという課題が出ました。</p> <p>65歳以上の方が介護保険になったときの就労したい人の道筋も課題として出ました。</p>
飯田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、相談支援部会お願いいたします。</p>
相談支援部会長	<p>現在の活動は、月に1回、障害福祉サービス等連絡会議で、上三川の事業所から職員が集まって情報交換をする場を設けていて、それが相談支援部会として成り立っていたということだが、会議をする中で相談支援部会の目的と役割が混同してうまく活動できないという課題がある。</p> <p>今後の提案としては、毎月開催されている障害福祉サービス等連絡会は、事業所間の連絡をする場とし、それ以外に支援部会として別の部会を設けることによって、きちんと目的・役割が明確になるかと思えます。具体的に、誰に参加してもらうかなどの詳細は今後詰めていく課題であると考えています。</p>
飯田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、啓発部会お願いいたします。</p>
啓発部会長	<p>コロナのため活動は出来なかったが、以前、12月に役場のロビーでアイの会、身障聴覚障害者、手をつなぐ育成会では、写真や会の紹介を展示させていただいた。健康福祉まつりでも、展示をさせていただいて、地域の方に会の活動を伝えていた。</p> <p>今後の活動については、「啓発」という言葉は今の時代にそぐわないのではないか。なぜかと言うと、当事者含め家族もいて、い</p>

	<p>ろいろな障害で悩みを抱えていらっしやる。悩みのある中で、周りの人に理解、こんなことを助けてもらいたいなど、自分で発信することは難しい。そのために、協議会で話を集約しながら、もっと生活を向上させる、また、周りの方にこんなことに困っているんだなとわかっていただくための部会として、もっと身近に、当事者として検討内容やネーミングをどうしていくかが課題となっている。</p>
飯田会長	<p>ありがとうございました。次に、子ども部会お願いいたします。</p>
子ども部会長	<p>医療的ケア児の検討を何年かしてきた。その中で、ご本人の支援は医療的部分が関わってくるので、手を出せない部分もあるが、ご家族への支援、ご家族の方がかなり苦勞なさっているので、保護者が集まれる場所があるといいとか、ご自宅へ行って話を聞くとか、そういった受け入れ態勢が整えられればいいという話や、適切な情報が届いてないのではないかという話が出た。</p> <p>今後の活動としては、保護者へのケアをどうするか、保護者だけではなく、兄弟がいる医療的ケア児であれば兄弟への支援も重要であると考えています。情報が十分届いていないということであれば、情報提供のためのガイドブックをつくるとか、そういったことも課題があると話が出ました。</p> <p>部会としては、医療的ケア児について終結していないが、そのほか発達障害のことがあったりなど、子ども部会としての存続も継続する必要があるという結論が出たところです。</p>
飯田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の部会について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
飯田会長	<p>事務局からの説明が終わりましたので、質疑をお受けしたいと思います。ご意見、ご質問はございますか。</p>

鈴木委員	<p>このところ、雨の降り方が異常で、いきいきプラザが障害者の避難場所になっていると思うが、話に聞いたところ、駐車場に水が結構たまるとのことだが、危なくないのか。</p>
高田補佐	<p>駐車場ではなくて、いきいきプラザの西側の道路が冠水するというお話かと思います。洪水時には、その場所には都市建設課など関連する事業系の職員がそこに立って案内していますので、それについてはご安心いただければと思います。それでも、駐車場内に水が溜まっているという話であれば、お知らせいただければと思います。早期に対応いたします。</p>
飯田会長	<p>他に質問もないようですので議事（２）の部会協議を終了いたします。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了いたしましたので、進行を事務局にお戻しします。</p>
高田補佐	<p>飯田会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第４ その他でございますが、お集まりの皆様から何かございますか。</p> <p>事務局から委員の皆様ご連絡事項等ございますか。</p> <p>ないようですので、以上を持ちまして令和５年度第１回上三川町地域自立支援協議会を閉会いたします。</p> <p>これで解散となりますが、医療的ケア児作業部会の皆様、啓発部会の皆様にはご連絡がございますので、そのまま席でお待ちください。</p> <p>本日はお疲れさまでした。</p>